

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)		ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
1. 子どもの参画 自分たちに影響を及ぼす問題への、子どもたちの積極的参画を推進すること。意思決定プロセスで子どもたちの意見に耳を傾け、それを考慮に入れること。							
1	<input type="checkbox"/> 行政活動全体にわたって、子どもの権利条約12条(子どもが意見を表す権利を持つこと)の原則が反映されるしくみを有しているか？	◎行政活動全体にわたって、子どもの権利条約12条(子どもが意見を表す権利を持つこと)の原則が反映されるしくみがある ○子どもが意見を表す権利を持つことについて行政活動や施策に関わる部局が理解し、より多くの場面で反映されるよう努力している △子どもが意見を表す権利を持つことについて行政活動や施策に関わる部局が知っており、具体的な取り組みへの計画に着手する意向がある	R4児童アンケート実績5分野より幅広い分野で実施する。				市内各官公署が直接関わらない分野における実施へのハードルが高く感じられると推測される。 そのためには、総合計画等、全庁横断的計画等への共通理念として掲げられ、また、法的に仕組みが担保されることが必要と考えられる。
2	<input type="checkbox"/> 保護者はじめ市民一般に子どもの意見の尊重の啓発活動が推進されているか？	◎市民一般に、子どもの意見の尊重が推進されている ○親に対して、子どもの意見の尊重について理解を深めるための活動が行われている △市民、特に親に対して子どもの意見の尊重について理解を深めるための、具体的な取り組みへの計画に着手する意向がある	CFCそのものや、これを土台とした学校再建・あびら教育プランなどの取り組みを通じた積極的情報発信に努める。				
3	<input type="checkbox"/> 子ども意見の尊重、子ども主体目録は、福祉・教育をはじめ子どもに関わる分野における職員研修に組み込まれているか？	◎子ども意見の尊重が全職員を対象とした研修に組み込まれている ○子ども意見の尊重が福祉・教育・その他の分野における職員を対象とした研修に組み込まれている △子ども意見の尊重を職員研修に組み込むための、具体的な取り組みが実施されている	新規職員研修の継続実施				町職員研修計画への反映の必要性。毎年研修の趣旨に沿った形で内容を変えるなどの工夫が必要。
4	<input type="checkbox"/> 行政施策において子どもに影響を与えるあらゆる事柄について、子どもたちは有意義にまた差別を受けることなく相談されることが図られているか？	◎子どもたちは、自分たちに影響を与えるあらゆる事柄について、意味のある形でまた差別を受けることなく意見を聞かれている ○子どもたちは、自分たちに影響を与える事柄の一部について、意味のある形でまた差別を受けることなく意見を聞かれる機会が確保されている △子どもたちに対して、意見を聞くための具体的な取り組みの計画に着手する意向がある	更に多くの機会の確保の検討				機会の確保(受動的)から機会が公平に与えられる仕組み(能動的)への転換の必要性
5	<input type="checkbox"/> 特定の属性がある子どもたち(障がい、虐待、少年司法など)を対象とする議論をする際に当該属性がある子どもたちの意見を聴いたり、参画の機会が持たれているか。	◎特別な問題に関しては、当事者である子どもの意見を聞いている ○特別な問題に関しては、当事者である子どもの意見を聞く機会を増やそうとしている △特別な問題に関しては、当事者である子どもの意見を聞くための具体的な取り組みの計画に着手する意向がある	体制だけを確保するのではなくアウトリーチできる体制へシフトする必要がある。				しょうがい福祉計画・しょうがい児福祉計画との整合性確保
6	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんや幼い子どもの視点が考慮されるようにするための体制は整っているか？	◎乳幼児の視点が保育に関わる子育て支援する体制が整っている ○乳幼児の視点から彼らに関わる子育て支援を検討する機会を増やそうとしている △乳幼児の視点から彼らに関わる子育て支援を検討するための具体的な取り組みの計画に着手する意向がある	「機会の確保(体制がある)」から「利用の促進(積極的に使われる)」へ進展させる必要がある。				直接的な支援を担当する職員等のスキルアップの機会強化の具体策検討
7	<input type="checkbox"/> 子どもたちには、自己に影響を与える行政上の手続において意見を聴かれる権利が認められているか？	◎子どもたちは自分たちに関わる行政上の手続(遊びや学びの機会への参加手続き等)について意見を述べる(主体的に参加)ことができる ○子どもたちは自分たちに関わる行政上の手続への意見表明が可能なこと(遊びや学びの機会があること)を知っている(周知している) △子どもたちは自分たちに関わる行政上の手続への意見表明ができるように、具体的な取り組みの計画に着手する意向がある	遊びや学びの分野に限らず、行政上の手続き全般へ取り組みを拡げる。				行政上の手続き全般へ取り組みを拡げるための仕組みづくり(法的担保)の必要性
2. 子どもにやさしい法的枠組み すべての子どもの人権を一貫して促進・保護する条例、規則の枠組みおよび手続を確保すること。							
1	<input type="checkbox"/> 国レベルの法律が地方自治のレベルでどのようなものかのように子どもに影響を与えているか、検討がなされているか？	◎国の法律に基づき策定・運用されるべき子どもにまつわる各種計画について、すべて策定・運用がなされている。 ○国の法律に基づき策定・運用されるべき子どもにまつわる各種計画について、すべて策定・運用に向けて検討がなされている。 △国の法律に基づき策定・運用されるべき子どもにまつわる各種計画について、策定・運用がなされていない部分がある。	子どもに関する必置計画の着実な策定・運用				子どもに関する努力義務の計画の把握と策定に向けた検討の必要性と、こども基本法との整合性確認
2	<input type="checkbox"/> 地方自治体は、その管理下にある条例等において子どもの人権が尊重されているか検証をしているか？	◎子どもの人権を尊重するために十分な仕組みがある ○子どもの人権を尊重するための仕組みがある △子どもの人権を尊重する仕組みについて検討する意向はある	関係条例において子どもへフォーカスする仕組みの検討				町長公約新条例制定と整合性確保
3	<input type="checkbox"/> これらの見直しにあたって第三者が参加したか？ また、子どもたちとの相談および子どもたちの参加はあったか？	◎子どもの人権を尊重する法的枠組みの見直しについて子どもとの相談や参画の仕組みがある ○子どもの人権を尊重する法的枠組みの見直しについて市民一般の相談や参画の仕組みがある △子どもの人権を尊重する法的枠組みの見直しについて一部の子どもや市民一般の相談や参画の仕組みがある	「子ども」の参画により一層フォーカスする。				「子ども」の参画により一層フォーカスする。

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)		ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
4	<input type="checkbox"/> とりわけ、子どもたちに影響を及ぼす事例等には、子どもの権利条約の4つの一般原則が適切な形で反映されているか？ - いかなる理由による差別もなく、一人ひとりの子どもにすべての人権が認められていること（適切な差別禁止条例施行と、不利な立場に置かれた子どもたちを対象とする積極的差別是正措置） - 子どもに関わるすべての行動において子どもの最善の利益が第一義的に考慮されること - 生命ならびに最大限の生存・発達に対する権利 - 子どもの意見の尊重（子どもに影響を及ぼすいかなる行政上・司法上の手続において意見が聴かれる権利を含む）	◎法的枠組みにおいては子どもの権利条約の4つの一般原則が反映されている ○子どもの権利条約の4つの一般原則の反映された法的枠組みの制定について検討を始めようとしている △法的枠組みはないが、子どもの権利条約の4つの一般原則の反映される国家的枠組みを遵守している。	4つの一般原則が反映される条例や計画等の制定について調査・検討を開始する。				まちづくり基本条例の改正や町長公約新条例制定、子ども・子育て支援事業計画や生涯学習計画等CFCを盛り込む既存計画への反映検討
5	<input type="checkbox"/> 困難な状況に置かれた子どもたちを含む子どもたち、権利侵害に対する救済を確保するための助言・権利擁護・苦情申立て手続ができるようにするための見直しは行われたか？	◎特別な支援と配慮が必要な子どもたちの権利侵害に対する救済を確保するための助言・権利擁護・苦情申立て手続が確立している ○特別な支援と配慮が必要な子どもたちの権利侵害に対する救済を確保するための助言・権利擁護・苦情申立て手続が検討されている △特別な支援と配慮が必要な子どもたちの権利侵害に対する救済を確保するための助言・権利擁護・苦情申立て手続を検討する意向がある	人権擁護委員協議会とより強い連携を図る。				
3. 子どもの人権を保障する施策 子どもにやさしいまちづくりのための詳細かつ包括的な戦略ないし項目を、条約にもとづいて策定すること。							
1	<input type="checkbox"/> 地方自治体は、子どもにやさしいまちづくりに焦点を当てた戦略（構想または計画や施策、以降「戦略」とする）を策定しているか？	◎子どもにやさしいまちづくりに焦点を当てた戦略（構想または計画や施策、以降「戦略」とする）を策定している ○子どもにやさしいまちづくりに焦点を当てた戦略について検討を始めようとしている △子どもにやさしいまちづくりに焦点を当てた戦略について検討する意向はある	総合計画をはじめとしたあらゆる戦略における実現を目指す。				所管部署のみならず、全庁横断的共通の取り組みとして発展させることが難関
2	<input type="checkbox"/> その戦略の策定にあたり、子ども・若者、NGO、子どもに関係する人々が参加できるようにするための、幅広い協議は行われたか？	◎戦略の策定にあたり、子ども・若者、NGOやNPO、子どもに関係する人々が参加できるようにするための、幅広い協議が行われている ○戦略の策定にあたり、子ども・若者、NGOやNPO、子どもに関係する人々が参加できるようにするための、幅広い協議について検討を始めようとしている △戦略の策定にあたり、子ども・若者、NGOやNPO、子どもに関係する人々が参加できるようにするための、幅広い協議について検討する意向はある	左記では、子どもに関する幅広い方々の協議が中心であったため、より幅を広げる。				実際どのようにして子ども等と協議するか細部の検討を要する。
3	<input type="checkbox"/> その戦略は子どもの権利条約全体を基盤としているか？すなわち、経済・社会・文化面、および政治面で子ども自身に影響を与えることに一市民として権利が保障されているか？	◎戦略は、子どもの権利条約の一般原則を基盤とし、その旨を明文化している ○戦略は、子どもの権利条約の一般原則を基盤としている △戦略は、子どもの権利条約全体を基盤とするための検討又はその意向がある	次の計画を中心に明文化へ向けた検討 ・基本構想／総合計画 ・子ども・子育て支援事業計画 ・次世代育成支援対策行動計画				各戦略の策定及び改正のタイミングを見計らって明文化の検討を要する。
4	<input type="checkbox"/> その戦略は、社会的に排除されたり、隅に追いやられた子どもたちに特に注意を払いつつ、自治体のすべての子どもを対象としているか？	◎戦略は、社会的に排除されたり、隅に追いやられた子どもたちに特に注意を払いつつ、安平町のすべての子どもを対象としている ○戦略は、社会的に排除されたり、隅に追いやられた子どもたちに特に注意を払いつつ、安平町のすべての子どもを対象とするよう検討を始めようとしている △戦略は、社会的に排除されたり、隅に追いやられた子どもたちに特に注意を払いつつ、安平町のすべての子どもを対象とするための検討の意向がある	アウトリーチでの事業展開等による予防の強化に向けて検討				職員のスキル・パフォーマンス向上に寄与する仕掛けとPRが必要
5	<input type="checkbox"/> その戦略はどの程度強固性において、重要な施策として位置付けられているか？たとえば、計画は市長や地方議会によって推進されているか？	◎現に重要施策として位置づけられ認識されている。 ○重要施策として位置づけられるべく準備が進められている。 △重要施策と位置付けるための検討の意向がある。	維持継続				
6	<input type="checkbox"/> その戦略は、優先的に扱われ、地方公共団体の基本構想・基本計画と整合性が図られているか？	◎戦略は、町の基本構想・基本計画と整合性が図られている ○戦略は、町の基本構想・基本計画と整合性をはかるための検討を始めようとしている △戦略は、町の基本構想・基本計画と整合性をはかるための検討をする意向はある	維持継続				
7	<input type="checkbox"/> 戦略には、自治体の子どもたちの生活に関連する、具体的な優先課題と期限付き目標が含まれているか？	◎戦略には、安平町の子どもたちの生活に関連する、具体的な優先課題と期限付き目標が含まれている ○戦略には、安平町の子どもたちの生活に関連する、具体的な優先課題と期限付き目標が含まれるよう検討を始めようとしている △戦略には、安平町の子どもたちの生活に関連する、具体的な優先課題と期限付き目標が含まれるよう検討をする意向はある	維持継続				

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)		ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4 評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5 評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
8	<input type="checkbox"/> 戦略には、適切な目標設定、評価・影響及び見直し等のプロセスが掲げられているか？	◎戦略には、適切な目標設定、評価・影響及び見直し等のプロセスが掲げられている ○戦略には、適切な目標設定、評価・影響及び見直し等のプロセスが掲げられるよう検討を始めようとしている △戦略には、適切な目標設定、評価・影響及び見直し等のプロセスが掲げられるよう検討をする意向はある	維持継続				
9	<input type="checkbox"/> 戦略の作成過程および戦略そのものは多岐にわたる地方行政制度全体を通じて、また子どもたち自身とその家族およびコミュニティ、子どもに関わるすべての人々に対して十分に知らされているか？	◎戦略の作成過程および戦略そのものは多岐にわたる地方行政制度全体を通じて、また子どもたち自身とその家族およびコミュニティ、子どもに関わるすべての人々に対して十分に知らされている ○戦略の作成過程および戦略そのものは多岐にわたる地方行政制度全体を通じて、また子どもたち自身とその家族およびコミュニティ、子どもに関わるすべての人々に対して十分に知らさせるための検討を始めようとしている △戦略の作成過程および戦略そのものは多岐にわたる地方行政制度全体を通じて、また子どもたち自身とその家族およびコミュニティ、子どもに関わるすべての人々に対して十分に知らさせるための検討をする意向はある	維持継続				戦略等を「知らせる」ことはしているが、実際に皆が「知っている」ものにするための仕掛けの検討
4. 子どもの人権部門または調整機構 子どもの視点が優先的に考慮されるようにするための恒久的体制を地方自治体のなかで発展させていくこと。							
1	<input type="checkbox"/> 地方自治体内には、次のことを担当する部局ないし調整機構がはっきりわかる形で存在するか？ - 子どもにやさしいまちの推進 - 子どもに影響を及ぼす政策の調整 - 子ども戦略の企画およびフォローアップ	◎子どもにやさしいまちの推進、子どもに影響を及ぼす政策の調整、子ども戦略の企画およびフォローアップを担当する部署がある ○子どもにやさしいまちの推進、子どもに影響を及ぼす政策の調整、子ども戦略の企画およびフォローアップを担当する部署の設置の検討を始めようとしている △子どもにやさしいまちの推進、子どもに影響を及ぼす政策の調整、子ども戦略の企画およびフォローアップを担当する部署の設置の検討をする意向はある	維持継続				
2	<input type="checkbox"/> その部局は首長直轄の権限行使が可能か？	◎部局は首長直轄の権限行使が可能 ○部局は首長直轄の権限行使の検討を始めようとしている △部局は首長直轄の権限行使を検討する意向はある	町長部局と引続き強度な連携を図りながら本事業を展開させる。				
3	<input type="checkbox"/> その部局には、子どもたちとの直接の意見交換の場が開かれ、その部局自身の活動および自治体全体の行政活動全体にわたって子どもたちの意見が尊重されるようになっているか？	◎部局では、子どもたちとの直接の意見を聞くことが保たれ、その部局自身の活動のみならず他の部局にわたって子どもたちの意見が尊重されている ○部局では、子どもたちとの直接の意見を聞くことが保たれ、その部局自身の活動について子どもたちの意見が尊重されている △部局では、子どもたちとの直接の意見を聞くことが保たれ、その部局自身の活動および自治体全体の行政活動全体にわたって子どもたちの意見が尊重される仕組みを検討する意向がある	ひとつでも多くの部局で実施されるようにする。				所管部署のみならず、全庁横断的な取組みの必要性
5. 子どもへの影響評価 条例・規則・政策・実務が子どもたちに与える影響を、事前に、実施中および実施後に評価するための制度的プロセスを確保すること。							
1	<input type="checkbox"/> 新しい条例・規則・政策の立案時及び実施過程において、子どもたち全般および特定集団の子どもたちに及ぼす影響が考慮されるための手続があるか？	◎ 新しい条例・規則・政策の立案時及び実施過程において、子どもたち全般および特定集団の子どもたちに及ぼす影響が考慮されるための手続がある ○ 新しい条例・規則・政策の立案時又は実施過程において、子どもたち全般および特定集団の子どもたちに及ぼす影響が考慮されるための手続がある。 △ 新しい条例・規則・政策の立案時及び実施過程において、子どもたち全般および特定集団の子どもたちに及ぼす影響が考慮されるための手続について検討又はその意向がある	より「子ども」にフォーカスした手続が踏まれる条例等を増やしていく。				所管部署のみならず、全庁横断的な取組みの必要性
2	<input type="checkbox"/> 子どもへの影響評価は、意思決定に影響を及ぼすのに十分なほど早い段階で実施されているか？	◎子どもへの影響評価は、意思決定に影響を及ぼすのに十分なほど早い段階で実施されている ○子どもへの影響評価は、意思決定に影響を及ぼすのに十分なほど早い段階での実施が一部で行われている。 △子どもへの影響評価は、意思決定に影響を及ぼすのに十分なほど早い段階での実施について検討又はその意向がある	適切なタイミングの検討				早期に実施されるための制度改正が必要なものもある。
3	<input type="checkbox"/> 自治体による施策の実施が及ぼす子どもたちへの影響について、定期的に評価されているか？	◎毎年評価されている。 ○複数年単位で評価されている。 △評価しているが、不定期又は終了時のみ評価されている。	まずは定められた時期に確実に評価を行う。				毎年評価されるものを増やすことができるか、実現可能性の検討が必要
4	<input type="checkbox"/> これらの事前・事後評価のプロセスにおいて、不利な立場に置かれた集団や社会の隅に追いやられた集団を含むすべての子どもたちの状況が考慮されているか？	◎これらの事前・事後評価のプロセスにおいて、すべての子どもたちの状況が考慮されている ○これらの事前・事後評価のプロセスにおいて、すべての子どもたちの状況が考慮される仕組みについて検討を始めようとしている △これらの事前・事後評価のプロセスにおいて、すべての子どもたちの状況が考慮される仕組みについて検討する意向はある	維持継続				
5	<input type="checkbox"/> これらのプロセスに子どもたちが参加しているか？	◎これらのプロセスに子どもたちが参加している ○これらのプロセスに子どもたちが参加する仕組みについて検討を始めようとしている △これらのプロセスに子どもたちが参加する仕組みについて検討する意向がある	関係部局で連携を重ねる。なお、交通安全プログラムについては、子どもたちの直接的参加を模索する				子どもの直接参加の範囲と機会の検討

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)		ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4 評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
6	<input type="checkbox"/> これに加えて、事前・事後の子ども影響評価を行なう外部評価は設けられているか？	◎事前・事後の子ども影響評価を行なう外部評価は設けられている ○事前・事後の子ども影響評価を行なう外部評価を行なう仕組みについて検討を始めようとしている △事前・事後の子ども影響評価を行なう外部評価を行なう仕組みについて検討する意向はある	維持継続				より「子ども」にフォーカスを置くことができる仕組みの検討
6. 子どもに関する予算 子どものための十分な資源配分と予算分析を確保すること。							
1	<input type="checkbox"/> 地方自治体は、資源配分が自治体レベルで行なわれているサービスについて、自分の自治体の子どもたちに資源が公正に配分されているかどうかを評価することができるか？	◎ マチの子どもたちに資源が公正に配分されているかどうかを評価することができる ○ マチの子どもたちに資源が公正に配分されているかどうかを評価の仕組みについて検討を始めようとしている △ マチの子どもたちに資源が公正に配分されているかどうかを評価の仕組みについて検討する意向はある	継続検討				究極的には直接子どもたちが参画するプロセスが必要
2	<input type="checkbox"/> 自治体予算全般および個別の支出項目は子どもたちのために使われている割合を明らかにできるように十分な分析の対象とされているか？	◎町予算全般および個別の支出項目は子どもたちのために使われている内容を明らかにしている ○町予算全般および個別の支出項目は子どもたちのために使われている内容を明らかにする仕組みについて検討を始めようとしている △町予算全般および個別の支出項目は子どもたちのために使われている内容を明らかにする仕組みについて検討する意向がある	継続検討				「明らかにする」ことはしているが、実際に皆が「知っている」ものにするための仕掛けの検討
3	<input type="checkbox"/> 地方自治体の予算策定プロセスは透明か？予算の使途について子どもたちにも十分な説明がされているか？	◎町予算策定プロセスは透明で予算の使途について子どもたちにも十分な説明がされている ○町予算策定プロセスの透明化又は予算の使途の子どもたちへの十分な説明のいずれかが未確立であるため、検討を始めようとしている △町予算策定プロセスの透明化又は予算の使途の子どもたちへの十分な説明のいずれかについて検討する意向がある	より子ども目線での説明内容を検討				予算策定プロセスについて、どこまで開示されるべきかの程度の問題
4	<input type="checkbox"/> 地方行政において子どもたちにどのぐらいの資源が振り分けられているかを示す「子ども向けの予算」が作成・広められているか？	◎町行政において子どもたちにどのぐらいの資源が振り分けられているかを示す「子ども向けの予算」が作成・広められている ○町行政において子どもたちにどのぐらいの資源が振り分けられているかを示す「子ども向けの予算」について検討を始めようとしている △町行政において子どもたちにどのぐらいの資源が振り分けられているかを示す「子ども向けの予算」について検討する意向がある	「わかりやすい予算書」をより子ども目線にすることで改善する余地があるか検討				子どもに特化したものの実現可能性
7. 子ども報告書の定期的発行 子どもたちおよび子どもの権利の状況に関する十分なモニタリングとデータ収集を確保すること。							
1	<input type="checkbox"/> 子どもにやさしいまちづくりに向けた進捗度を判断するため、自治体で暮らす子どもたちについての十分な統計的その他の情報が収集されているか？	◎ 子どもにやさしいまちづくりに向けた進捗度を判断するため、安平町で暮らす子どもたちについての十分な統計的その他の情報が収集されている ○ 子どもにやさしいまちづくりに向けた進捗度を判断するため、安平町で暮らす子どもたちについての統計的その他の情報が収集されているが、情報の種類を増やす余地がある。 △ 子どもにやさしいまちづくりに向けた進捗度を判断するため、安平町で暮らす子どもたちについての十分な統計的その他の情報が収集する仕組みについて検討又はその意向がある	児童調査の頻度の検討				毎年継続して実施できるか／する必要があるか検討
2	<input type="checkbox"/> 「自治体子ども報告書」が存在するか？	◎「安平町子ども報告書」が存在する ○「安平町子ども報告書」について検討を始めようとしている △「安平町子ども報告書」について検討する意向がある	上記の実施が成されれば、連動して実施する。				「子どもにやさしいまちづくり」計画及び次世代育成支援対策行動計画に本子ども報告書の要素を追加できないか検討
3	<input type="checkbox"/> 子ども報告書が存在するとなれば―― - 出生時から18歳までの子どもに関する統計データが収集・公表されているか？ - 特定の配慮や支援を要する子どもたちに対し、十分な情報が提供されているか？ - 子ども報告書は、以下の人々にとってアクセスしやすい形で公表・普及されているか？ 【主要な政策立案者】 - 子どもたちそして子どもとともに／子どものために働いている人々 - 子ども報告書では、利用可能な統計・情報の欠缺（欠けている所）が明らかにされているか？ - 子ども報告書は、政策立案の参考にするために効果的に活用されているか？	◎出生時から18歳までの子どもに関する統計データの収集・公表、特別なニーズのある子どもたちに対し十分な情報が提供、子どもや子どものために働く人々への情報提供、不足情報の公表、政策立案への活用ができていない ○出生時から18歳までの子どもに関する統計データの収集・公表、特別なニーズのある子どもたちに対し十分な情報が提供、子どもや子どものために働く人々への情報提供、不足情報の公表、政策立案への活用のうち、半分に着手している △出生時から18歳までの子どもに関する統計データの収集・公表、特別なニーズのある子どもたちに対し十分な情報が提供、子どもや子どものために働く人々への情報提供、不足情報の公表、政策立案への活用のうち、ひとつは着手している	上記児童調査に合わせ、その頻度と範囲について検討				上記2項目に関連し、恒常的な仕組みとするか検討

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)	ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4 評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5 評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
8. 子どもの人権の広報 おとなおよび子どもの間で子どもの人権に関する認識が定着するようにすること。						
1	<input type="checkbox"/> 自治体では、子どもやおとなの間で子どもの人権についての知識と尊重を確保するための戦略が策定されているか？	◎戦略が策定されている ○戦略の策定の検討を始めようとしている △戦略の策定をする意向がある	維持継続			より人権に特化した戦略の必要性検討
2	<input type="checkbox"/> 自治体の管理職を含む主要な職員は子どもの人権に関する研修を受けているか？ 子どもに関する部局以外も「こども主体目線」についての理解が深まっているか？	◎「こども主体目線」についての理解が深まっている ○「こども主体目線」についての理解を深めようとしている △「こども主体目線」についての理解を深めようとする意向がある	管理職に特化した研修方法の研究			研修計画への反映の必要性。毎年研修の趣旨に沿った形で内容を変えるなどの工夫が必要。
3	<input type="checkbox"/> 人権および子どもの権利条約についての教育は、学校のカリキュラムに組み込まれているか？	◎学校のカリキュラムに組み込まれている ○学校のカリキュラムに組み込むことについて検討を始めようとしている △学校のカリキュラムに組み込むことについて検討する意向はある	学校現場において子どもの権利に特化したものの導入について検討			学校との緊密な連携
4	<input type="checkbox"/> 子どもとともに/子どものために働く者を対象とした初任時・現職者研修に、子どもの人権に関する教育と子どもの人権の促進が含まれているか？	◎初任時・現職者研修に、子どもの人権に関する教育と子どもの人権の促進が含まれている ○初任時又は現職者研修に、子どもの人権に関する教育と子どもの人権の促進が含まれている △初任時・現職者研修に、子どもの人権に関する教育と子どもの人権の促進について検討又はその意向がある	より多様に参加しやすい研修の検討			担当者のスキル向上
5	<input type="checkbox"/> おとなや子どもの間で子どもの権利がどの程度知られているかについて、定期的な評価は行なわれているか？	◎定期的に評価することができている ○定期的に評価する仕組みについて検討を始めようとしている △定期的に評価する仕組みについて検討する意向がある	定期的な実施の検討			定期的をどの程度と捉えるか検討
9. 子どものための独立したアドボカシー 子どもの人権を促進するため、NPO等の支援、独立の人権機関 ～ 子どもオンブズマンや子どもコミッショナー ～ の設置を進めること。						
1	<input type="checkbox"/> 地方自治体は、幅広く適切な範囲のNPO、企業等とのパートナーシップを発展させてきたか？	◎安平町では、新たなNPO、企業等とのパートナーシップを拡げることができた ○安平町では、従前から結ばれるNPO、企業等とのパートナーシップを深めている △安平町では、適切なNPO、企業等とのパートナーシップについて検討又はその意向がある	関係のある法人等を増やしていく。			幅広く法人等から理解を得ること。
2	<input type="checkbox"/> NPO等には、管理的ではない適切な支援と、意思決定に影響を及ぼせるような機会が与えられているか？	◎NPO等には、管理的ではない適切な支援と、意思決定に影響を及ぼせるような機会が与えられている ○NPO等には、管理的ではない適切な支援と、意思決定に影響を及ぼせるような機会について検討を始めようとしている △NPO等には、管理的ではない適切な支援と、意思決定に影響を及ぼせるような機会について検討する意向がある	適切なパートナーシップの維持継続			
3	<input type="checkbox"/> 子ども・若者主導のNPO等が奨励支援されているか？	◎子ども・若者主導のNPO等が実際に奨励支援されている ○子ども・若者主導のNPO等が奨励支援方法はある △子ども・若者主導のNPO等が奨励支援方法について検討又はその意向がある	維持継続			
4	<input type="checkbox"/> 地方自治体は、子どものための自律的な人権機関——子どもオンブズマンや子どもの権利コミッショナー——を設置し、またはその設置を働きかけてきたか？	◎地方自治体は、子どものための自律的な人権機関——子どもオンブズマンや子どもの権利コミッショナー——を設置し、またはその設置を働きかけてきた ○地方自治体は、子どものための自律的な人権機関——子どもオンブズマンや子どもの権利コミッショナー——を設置の検討を始めようとしている △地方自治体は、子どものための自律的な人権機関——子どもオンブズマンや子どもの権利コミッショナー——を設置の意向がある	当該機関の機能等の理解から始める。			こども基本法との整合性や、実際の必要性から検討

ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」

日本型CFCモデルチェックリスト (日本共通)		ルーブリック評価 (安平版)	R5-目標 (R4評価結果を踏まえて)	R5評価	評価の根拠	R6-目標 (R5評価結果を踏まえて)	備考 (困難な課題、計画や事業の立案の必要性等)
10. 当該自治体にとって特有の項目 日本型CFCモデルを推進する地方自治体が独自の判断で取り組む項目 安平町にとって特有の項目 『学校現場におけるCRE導入と、子どもの権利条例の制定』							
1	□町立学校の教職員の子どもに関する理解が進んだか？	◎理解を促進する自主的な活動が行われた ○理解を促進する機会を設けて実施した △理解を促進するための方策を検討した	理解を促進するための学校現場での研修の実施				究極的には保護者を含む地域の大人へ展開
2	□町立学校の児童生徒の子どもに関する理解が進んだか？	◎理解を促進する自主的な活動が行われた ○理解を促進する機会を設けて実施した △理解を促進するための方策を検討した	理解を促進するための校内活動の実施				
3	□町立学校にCRE (Child Rights Education) が導入されたか？	◎他のクラスにも導入された／見込みが立った ○特定のクラスに導入された／見込みが立った △導入するための協議を開始した	早来学園1クラスへの導入に道筋を付ける。				究極的には、前項全クラスへ展開
4	□町長公約にある子どもの権利に関する条例制定が実現できたか？	◎制定された／見込みが立った ○制定に向けた具体的な作業に着手した。 △制定に向けて、調査・研究が開始された。	制定に向けた調査研究に着手する。				とりわけ意見表明権と遊ぶ権利の発展
5	□条例制定に子どもの意見が反映されているか？	◎あらゆる部分で子どもの意見を取り入れ進められている ○一部子どもの意見を取り入れ進められている △子どもの立場を想像して進められている／進められる予定である	調査研究の中で、このように取り入れていくか検討する。				条例制定後も意見表明権を確保する仕組みが必要

集計	該当数	割合	割合2
◎	0	#DIV/O!	#DIV/O!
○	0	#DIV/O!	#DIV/O!
△	0	#DIV/O!	#DIV/O!
—	0	#DIV/O!	#DIV/O!
計	0	#DIV/O!	#DIV/O!